

## 「好調な食品・飲料分野」

メガバンクで投資銀行業務等の幅広い経験を持つ。現地従業員 200 名。800 社超のお客様に市場調査、ビジネスマッチング、投資ライセンス、投資ライセンス、会計・税務・監査、労務・法務、M&A など幅広い側面で日系企業を支援。



## ＜イオン、都市型大型スーパー 1 号店をホーチミンに出店＞

イオンベトナムは、2024 年 4 月、ホーチミン市 7 区のクレセントモール内に、都市型と位置付けた大型スーパーマーケット「イオン・グエンバンリン」をオープンしました。同社のスーパー・スーパーマーケットとしての業態でのホーチミン出店は初めてとなります。敷地面積 5,000 m<sup>2</sup>のうち、総合スーパー（面積 2,000 m<sup>2</sup>）に加えて、すしや刺し身などの日本食、ベトナム食、韓国などの各国料理を取りそろえたフードコート（面積 1,200 m<sup>2</sup>、200 席収容）が併設されているのが特徴です。



【お弁当・おでんコーナー（筆者撮影）】

総菜の対面販売コーナーでは、購入前に試食することができ、フードコートでは大型タッチパネルによるセルフオーダーシステムも導入しました。今後も市内中心部から車で約 20 分の立地に、5,000 m<sup>2</sup>規模の都市型大型スーパーを単体で開業予定とのことです。



【にぎわうフードコート（筆者撮影）】

## ＜ベトナム企業の増収増益：食品・飲料品など好調＞

ホーチミン本社のベトナムのマサングループ（時価総額でトップ3に入る食品・飲料製造が中心の民間複合企業。）は、2024 年上半期の連結純利益が前年同期比 64%増の 1 兆 4,250 億ベトナムドン（約 89 億円）と発表しました。中でも、認知度の高いブランドを持つ食品や飲料は 12%増収と好調で、全土に店舗網を張り巡らすスーパーマーケットなどの小売部門も 4%増収でした。マサングループ以外での食品・飲料関連企業でも、9%増益のサベコ（ビール）、20%超の増収増益の PAN（食品）などベトナム上場企業での好決算が続いています。

ベトナムの主要な上場企業 30 社で構成されるインデックス（VN30）で、2024 年第 2 四半期の結果を見ると、30 社中 28 社が増益となっており、売上高は前年同期比 10.5%増、税引き後利益は 24%増と大幅な増収増益となっています。ベトナムマクロ経済（特に個人消費）が堅調に推移していることが読み取れます。

## ＜ベトナム時事ニュース＞

## ① 2024 年 7 月、2 年ぶりの最低賃金改定

一般労働者向けの地域別（4 区分）の最低賃金引上げに関する法令が公布され、2024 年 7 月 1 日からの適用で約 6.0%引き上げられ、第一種地域（ホーチミン市やハノイ市など）で月額最低賃金 496 万ドン（約 31,000 円）、時間最低賃金 23,800 ドン（約 150 円）となりました。

## ② チョン書記長の逝去

7 月 19 日にグエン・フー・チョン書記長（80 才。党規約では書記長の任期は連続 2 期 10 年までと定められているが、2021 年 1 月から異例の 3 期目を務めていた）が逝去。8 月 3 日にトー・ラム国家主席（序列 2 位、代行）が正式に新しい書記長に選出されました。巷では、親中派が勢力を強めていると危惧する声も聞こえていますが、米国大統領選などの重要な政治イベントもある中、果たしてどうなっていくか今後の運営に注目が集まっています。